

ごあいさつ

いび川農業協同組合
代表理事組合長

堀 尾 茂 之



平素よりJAいび川の各事業に格別のご利用を賜り、厚くお礼申し上げます。

わが国の経済情勢は、コロナ禍からの社会経済の正常化が進みつつある中、緩やかな持ち直しが続いています。その一方で、世界的なエネルギー・食料価格の高騰や欧米各国の金融引き締め等による世界的な景気後退懸念等、わが国経済を取り巻く環境には厳しさが増しています。金融政策においては、日銀が金融緩和策を維持することを決めたことで、依然として金利は低位での推移となりました。

農業分野においては、ロシアによるウクライナ侵攻を背景とした国際的な原材料価格の上昇や円安の影響など、食料安全保障への懸念が高まると同時に、農業者の農業経営への不安が高まっています。JAをめぐる情勢では、総合農協監督指針が改正され、昨年度の総代会で決定した自己改革実践計画を着実に実践するとともに、組合員の声を聴き改善していく「自己改革実践サイクル」の遂行が求められています。

こうした状況を踏まえ、昨年度は第10次中期経営計画（令和4年度～6年度）の初年度として、「農業者の所得増大の実現」「食と農を通じた地域活性化への貢献」「自己改革を支える経営基盤強化」を基本目標と定め、取り組みを進めると同時に、様々な機会を通じて組合員の皆さまとの対話を実施させていただきました。

令和5年度は、第10次中期経営計画の2年目として、対話を通じた不断の自己改革に引き続き取り組み、組合員や地域の皆さまから必要とされるJAを目指して事業を展開してまいります。

ここに「2023年ディスクロージャー誌」を作成いたしましたので、是非ご一読いただき、JAいび川への理解を深めていただきますとともに、今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

令和5年7月